

### 経営者への活きた言葉

#### これからはCSVの時代 野平 郁次郎（一橋大学名誉教授）

1. ハーバード大学のマイケル・ポーター教授は、いまやCSR(企業の社会的責任)を求める時代は終わり、これからはCSV、つまり「クリエイティング・ソーシャル・バリュー」の時代と語っている。儲かったら寄付をするという活動は偽善的で、本業のなかでその価値を追求すべき、というわけですが、これは日本の企業にとってとくに目新しい価値ではないでしょう。
2. 今は、日本企業が再び存在感を強める素地が揃いつつあります。利益は追求するけれど、同時に理想も追求する。重要なのはバランスで、そもそも利益は未来創造のコストでもあります、そこが甘くなると持続しません。松下幸之助は「産業報国」ということで家電を始めました。
3. 少しずつ日本企業は変わりつつある。あとは信じて志を語り、行動する。そのなかで本質を考える。かつての日本人はみなそうでした。明治維新期の脱藩の志士も、死を求めて歩きながら、高度なインテリジェンスをもっていたわけです。その気概をもう一度、日本人は取り戻し、再び光り輝く時代に向かって歩むべきときです。

(参考:「VOICE」2011年 4月号)

### 経営者のための経済学

#### 初めて減少した貯蓄残高

1. 総務省の全国消費実態調査によると、2009年の1世帯(2人以上)当たりの貯蓄残高が1521万円となり、前回調査の2004年に比べ 2.2%減少したことがわかった。貯蓄残高はバブル 期の1989年に 5年前比 62.8%増加するなど、これまで増え続けてきたが、1969年の調査開始以来、初めてマスのなすとなった。
2. 日本は国債が多大な額にまで積み上がっているにもかかわらず、ギリシャのように問題にされなかったのは、家計の貯蓄が増加していたからだ。貯蓄残高が減少した今、その神話にも黄色信号が灯りそうだ。

(参考:「週刊東洋経済」: 2011年2月12日号)